

弘前大学教育学部 附属特別支援教育センター

「教育的支援が必要な子供たちへの支援のあり方を知り、実践する役割を担う」



弘前大学教育学部附属特別支援教育センターは、教育学部学校教育講座（特別支援教育分野）が附属特別支援学校と連携しながら運営しています。

適切な教育的支援を必要とする子供たち（知的障害・発達障害等を含む）を対象に、障害や特別支援教育についての相談を随時受け付けています。県内の保育所・幼稚園や小・中学校等からの相談、勉強会・情報提供、研修への講師派遣にも応じています。

教育相談については、相談員として特別支援教育分野の大学教員が、また相談補助員として大学院生や教育学部の学生が、それぞれかかわります。子供にとっては教師や親、仲間とも違う“ナナメの関係”として、学生にとってはさまざまな子供と関わる大切な機会になるとともに、教員としての力量形成にもつながっています。

弘前市文京町1番地 弘前大学教育学部内

センター長：増田貴人（教育学部准教授、特別支援教育分野）
センター員：中山忠政（教育学部講師、特別支援教育分野）
センター員：天海丈久（教育学部准教授、特別支援教育分野）

【事業内容】

○相談事業

- ▶ 発達障害等、特別な教育的支援を必要と思われる子供への相談・支援 “木曜教室”
対象： 発達障害等、特別な教育的支援を必要と思われる子供
頻度： おおむね週1回（毎週木曜の夕方、90分程度）
内容： 4～7月及び10～2月の間、参加児ひとりひとりに応じて、学校や家庭で困っていることへの相談・支援に応じています。オーダーメイド形式で援助計画を作成し、相談員・相談補助員と一緒に、学習や遊び、社会性などの課題を行います。

- ▶ 幼児への運動の不器用さ支援 “身体活動支援教室”
対象： 就学前児（身体の動きにぎこちなさがみられる子供）
頻度： 月1～2回程度（金曜午前9:00-10:00）
内容： 打つ・かわす・守るなどの動作を含む身体活動実践をとおして、力加減や身のこなし、集団でのマナーなどを学び、動きのぎこちなさの改善や社会性支援につなげていきます。ボール運動遊びを主体として、スポーツチャンバラや線つなぎ、療育アプリケーションを使った体操などの活動を行っています。

- ▶ 個別教育相談
対象： 知的障害・発達障害等がある、または疑われるような、特別な教育的支援を必要とすると思われる子供や大人（本人）、及びその保護者や学校関係者
日時： 原則金曜日に実施（ただし事情に応じて柔軟に対応しています）
内容： 特別支援教育に関する個別相談を行っています。お子さんと保護者の方とご一緒に来室下さい。

【問い合わせ先】

- ・ 電話またはE-mailで申し込みます。確認次第、折り返し連絡を差し上げます。
- ・ “木曜教室”や“身体活動支援教室”の募集は随時行っています。
- ・ 料金は無料です。ただし事前に相談の上、実費をいただくことはございます。本相談は大学での教育・研究も目的にしておりますので、その旨ご理解ください。
- ・ プライバシーについて、相談において知り得た情報は、本人・保護者の承諾なく他の目的で使用したり公開されることはありません。安心してご利用ください。

弘前大学教育学部附属特別支援教育センター（弘前市文京町1番地 弘前大学教育学部内）
連絡先 TEL/FAX 0172-39-3441（増田） E-mail tcenter@hirosaki-u.ac.jp
0172-39-3451（中山）
0172-39-3452（天海）

○その他の活動

- ▶ 特別支援教育相談に関する実習と教育（養成業務）
上記相談・支援に弘前大学教育学部の学生・大学院生も相談補助として参加し、特別支援教育に関する学生教育の場としても位置付けさせていただいております。

- ▶ 特別支援教育に関わる研修の開催
毎年セミナーを開催して、専門家の講演やなどの学習・研修機会を提供するようにしています。過去には、発達障害当事者との懇話、発達障害児のライフ・ストーリー、特別支援学校での授業やチーム・ティーチングについて、講演・シンポジウムを開催してきました。
また、保育者を中心とした勉強会「こどものカタチ」への協力や、県内関係団体等への協力・連携・講師派遣も積極的に行い、研修機会の提供に努めています。